

2016年4月5日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部世界をリードするイントラロジスティクスとサプライチェーン・マネジメントの専門展示会
セ マ ッ ト

CeMAT (国際イントラロジスティクス見本市)

CeMAT

2016年5月31日～6月3日、独・ハノーバーで開催

～規模を拡大した「包装・ラベル&印刷」分野など見どころ情報～

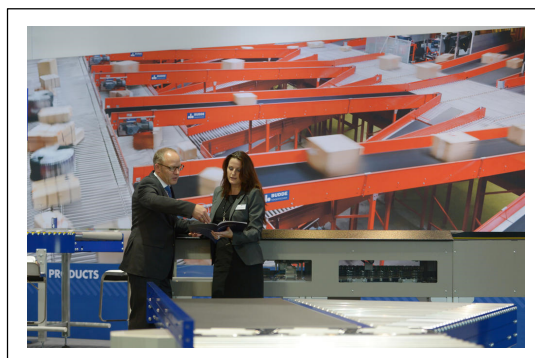
世界をリードするイントラロジスティクスとサプライチェーン・マネジメントの専門展示会「CeMAT (セマツト) / 国際イントラロジスティクス見本市」は、次回、2016年5月31日(火)～6月3日(金)に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。この展示会は、2005年より3年に1度の周期で開催(※2014年以降は隔年開催)しており、次回が5回目の開催となります。40以上の国・地域から1,000社以上が出展し、業界関係者4万8,000人が来場する規模を誇っています。

CeMAT 2016のトップテーマは「スマートサプライチェーン・ソリューション」。製造業に留まらずあらゆる産業で進展するデジタル化や統合化により、ロジスティクスの重要性は増しています。正確かつ柔軟な供給システムは、Industry 4.0をはじめとする産業の高度化には欠かせないものとなっており、デジタル化と自動化に関心が集まっています。

今回の見どころのひとつに「Empack & Label & Print (包装・ラベル&印刷)」分野の展示(ホール13)が挙げられます。ロジスティクスにおけるデジタル化・統合化を促進するための「包装・ラベル&印刷」の最新商品や最先端技術を、これまでよりもさらに大きく、充実した規模で紹介します。

CeMAT 2016 展示構成

- ◆ Logistics IT (ロジスティクス IT) ※新設
- ◆ Move & Lift (搬送&リフト)
- ◆ Store & Load (倉庫&貨物)
- ◆ Manage & Service (マネージ&サービス)
- ◆ Empack and Label & Print (包装・ラベル&印刷)



トピック1 : 「包装・ラベル&印刷」分野は規模を拡大。出展 200 社、10,000 m²の展示スペースに
トピック2 : 段ボール製のアトスペースで、魅力的なプログラムを実施

※トピックの詳細は、次ページ以降をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部 担当:竹生(たけお)、高間(たかま)
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03-3434-6447 / FAX: 03-3434-8076
E-Mail: DMS@jma.or.jp
※取材のお問い合わせは、広報室(TEL: 03-3434-8620、担当: 斎藤)へお願いいたします

*日本能率協会ビル全面リニューアル工事のため 2016年4月29日より2017年12月(予定)の間は 下記に仮移転
します。電話番号・FAXは変更ございません。
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

CeMAT 2016(セマツ／国際イントラロジスティクス見本市)

開催期間:2016年5月31日(火)~6月3日(金)

会場:ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

主催:ドイツメッセ株式会社

出展テーマ: ・ロジスティクス IT ・搬送&リフト ・倉庫&貨物
・マネージ&サービス ・包装・ラベル&印刷

入場料:CeMAT 2016 1日券1枚/31ユーロ、5日間通し券1枚/51ユーロ、他
※入場券は、ドイツメッセ日本代表部で2016年5月17日まで販売しています。
チケットサイト(http://www.jma.or.jp/dms/ticket_form/)より購入ください。
1日券1枚/4,000円、5日間通し券1枚/6,000円

■CeMAT 2016のみどころ①

< 包装・ラベル&印刷 >

トピック1:「包装・ラベル&印刷」分野は規模を拡大。出展200社、10,000㎡の展示スペースに

包装機器、材料、印刷・仕上げ技術などを紹介する「包装・ラベル&印刷」分野の展示(ホール13)は、Easyfairs社が主催する2つの展示会「Empack」、「Label & Print」とのパートナーシップにより、規模が拡大します。「Empack」、「Label & Print」は、「Empack@CeMAT」、「Label&Print@CeMAT」としてCeMATに組み込まれ、その展示スペースは約10,000㎡と、これまでよりもさらに大きく、充実したものとなります。



「Empack@CeMAT」、「Label&Print@CeMAT」となった初回の出展企業数は200社程度で、うち25%がドイツ国外からの出展です。

包装分野では、輸送包装、包装・梱包材など、ラベル&印刷分野では、印刷、デジタル印刷およびグラフィックアート産業のバリューチェーンに向けた製品やソリューションなど、ロジスティクスにおけるデジタル化・統合化を促進するための最新商品や最先端技術を紹介します。

< 主な出展企業 >

Ishida Europe GmbH、ErgoPack GmbH、Knüppel Verpackung GmbH & Co. KG、Mosca GmbH、MULTIVAC、Packsize GmbH、Wolf Verpackungsmaschinen GmbH、PFM Verpackungsmaschinen GmbH、STOROPack Hans Reichenecker GmbH、Schur Star Systems GmbH、TransPak GmbH

トピック2: 段ボール製のアートスペースで、魅力的なプログラムを実施

「Empack@CeMAT」、「Label&Print@CeMAT」では、魅力的な展示プログラムを企画しています。ホール13の展示スペース中央には、「パッケージング・アートハウス」を設置しました。これは、世界的に最も権威のあるデザイン賞のひとつである「iFデザイン賞」(主催:インダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーバー)を受賞した段ボール製の多機能アートスペースです。このアートハウスでは会期中、講義やパネル・ディスカッション、イベントなどが行われます。

「パッケージング・アートハウス」で実施する主なプログラムテーマは、包装分野の最新の話題がラインナップされています。「包装の世界を変えるメガトレンド」と題したプログラムでは、Wellpappen-Industrie e.V.(段ボール工業会)(ダルムシュタット)のマネージング・ディレクター、オリバー・ボルフルム博士による研究結果「サプライチェーン2025」を発表します。

また、「包装はデジタル化が進む市場の期待に応えているか」、「包装はグリーンかつスマートになることができるか」をテーマにしたパネル・ディスカッションのほか、「デザイン、機能性、持続可能性」の観点から、近代包装に付帯する一連の要件について検討する討論会、「エクストリーム・アスリートの観点から見たロジスティクス」、「オールラウンドプレーヤーの包装：マーケティング手段から情報担体へ」などをテーマにしたイベントも開催される予定です。

■CeMAT 2016のみどころ② ※以下は、2015年10月21日発表のプレスリリースで既報

< ロジスティクス IT >

「Logistics IT」エリアを新設

～モバイルインターネットやデジタル統合化で新たなビジネスモデルを～

他の産業と同じく、ロジスティクス産業においてもIT化は産業の高度化の基盤となります。このエリア新設の狙いは、モバイルインターネットとエンドユーザーの統合による新しいビジネスモデル創造を促すことです。

また、会場内では「Logistics IT Forum (ロジスティクスITフォーラム)」が行われ、専門家やユーザーを交え、質の高い議論が行われます。

クラウドコンピューティング、モバイルデバイス、インターフェース、インテリジェント・トラッキング、トレーシング、ネットワーク・プランニング、ビッグデータ、WMS (倉庫管理システム)、イメージプロセッシング、仮想化など、幅広いテーマを取りあげ、討論を繰り広げます。

< 搬送&リフト >

1. CeMAT最大のエリア「Move & Lift」「Store & Load」

～自動搬送車システム (AGV)、倉庫の自動管理システムなど、自動化にスポットライト～

マテリアルハンドリング、リフティング技術、工業用トラック、クレーン・リフティング機器、作業用プラットフォーム、自動搬送車システム (AGV)、港湾荷役技術が集中展示され、またこれらがサプライチェーンにインテリジェントに統合される方法も展示されます。

Store & Loadの展示エリアでは、自動化された倉庫管理ソリューションにスポットライトが当たります。シェルフシステム、工場設備、パレット、コンテナ、荷役機器、完全自動倉庫・荷役システムが展示されます。

2. クレーンとリフティング機器に特化したパビリオンを新設

～クレーンやリフティング機器のデジタル化・自動化を支援～

ホール27に新たに「Cranes and Lifting Equipment Pavilion (クレーン・リフティング機器パビリオン)」が設置されます。クレーンやリフティング機器の分野は、ロジスティクスにおける他の分野同様に、現在ますます進むデジタル統合化やIndustry 4.0の進展に伴う変化を目前にして、大きな課題を抱えています。これを受け、CeMAT 2016では、独自のパビリオンを設置します。出展製品は単純な荷役機器からターンキーの自動クレーンまでカバーします。

3. 屋外展示場「Platformers World@CeMAT」

～迫力ある見せ場～

リフティングシステムやアクセスシステムはイントラロジスティクス技術の核をなすもので、CeMAT 2016ではまさに屋外展示のハイライトとなります。ここでは作業用足場、リフトクライマー、テレスコピックフォークリフト、荷揚機、小型クローラクレーン、工業用クレーンなど多数のメーカーの製品が展示されます。

以上